

### 事業概要書

事業名	石巻市災害支援活動				
開始日	2011年 4月 1日	終了日	2011年 6月 30日	日数	90日間
団体名	特定非営利活動法人オン・ザ・ロード				

総額 (税込)	9,900,000 円	スタッフ人数	運営 15人 専門家 5人 他 120人
---------	-------------	--------	-------------------------

事業目的	活動拠点運営による被災地復興支援ボランティアの組織的かつ継続的派遣実施と、ボランティアリーダーの育成	
事業全体の概要	<p>甚大な津波被害を受けた宮城県石巻市では、震災直後から多くの NGO/NPO が活動を展開しており、4 月に入ってから個人ボランティアも活動を開始した。被害が大きく報道されたためボランティアが集中する傾向にあり、石巻市内のボランティア活動拠点は既に受入能力を超え、トイレ等衛生面やライフラインの問題が起き、新たなボランティア受入が困難な状況となっている。しかしながら、被災者の避難生活支援、復興支援には更に多くの人手が、継続的に必要である。</p> <p>そこで、津波被害を受けていない宮城県内陸部の大崎市（石巻市から内陸部に約 40km）にボランティアビレッジを開設し、常時 120 名のボランティアを常駐させる。1 チーム 8 名からなるボランティアを 15 チーム組織、宮城県石巻市に派遣し、瓦礫・泥撤去、炊出しなど避難民の生活支援、復興支援を行う。ボランティアビレッジの運営に関しては、全国からビレッジ運営のエキスパートが集結し、各班の班長として、その運営にあたる。また、長期化が予想される復興支援により多くの地域リソースを投入するため、地元のボランティアリーダーを育成する。ボランティアビレッジにて、ボランティア活動やボランティアマネジメントに必要なスキルを体系的に学び、実践する。</p>	
	事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)	裨益者 (誰が、何人)
	<p>1. ボランティアビレッジの開設</p> <p>ボランティアビレッジには衛生面を配慮し、仮設トイレを 2 箇所、洗濯場 1 箇所、また、炊き出し、ボランティアの食事を提供するために必要なシンク、冷蔵庫、調理器具を備えたキッチンや、石巻災害対策本部、東京事務所等との連絡機能を携えた事務所も設置します。</p>	被災者 約 13,000 人

<p>2. 宮城県石巻市内でのボランティア活動</p> <p>(1) 瓦礫・泥撤去作業</p> <p>(2) 避難所等での炊き出し</p> <p>(3) 救援物資の配布</p>	<p>被災者 約 15,000 人</p> <p>被災家屋等約 3,400 軒</p> <p>(15 チーム×3 軒/1 日 ×75 日)</p>
<p>3. ボランティアリーダーの育成</p> <p>当団体のボランティアコーディネーターが、ボランティアビレッジ滞在と実際のボランティア活動を通してボランティア活動やボランティアマネジメントに必要な知識、技術を指導する。チームリーダーを経験することにより、即実践する。継続的に復興事業に携わることができる地元（宮城県内及び東北地域）のボランティアをリーダーとして育成することが望ましい。</p>	<p>ボランティアリーダー 候補約 300 人</p>